



大山寺縁起絵巻(複製)(鳥根県立古代出雲歴史博物館蔵)Image : TNM Image Archives

**企画展** 平成30年6月2日(土)～7月1日(日)

## 2 伯耆国「大山開山1300年祭」 大いなる神仏の山 大山 —その歴史と民俗—

**企画展** 平成30年7月14日(土)～8月26日(日)

## 3 とっとりの化石 EXPO! 2018

**企画展** 平成30年10月6日(土)～11月11日(日)

## 4 鳥取画壇の祖 土方稻嶺<sup>ひじ かた どう れい</sup> — 明月来タリテ相照ラス —

5 [自然] 資料紹介 ダイオウイカのプラスティネーション標本

6 [人文] 資料紹介 大山の登山人形、スキー人形

コラム 江戸時代のドッグトレーナー<sup>おいぬかい</sup>～御犬飼～

7 [美術] 新収蔵品紹介 辻晉堂<sup>つじしんどう</sup>作《ワシ》

コラム 友の会へのお誘い

8 美術館準備室コラム、ミュージアムショップのご紹介

# 伯耆国「大山開山1300年祭」大いなる神仏の山 大山 ーその歴史と民俗ー

(主催)「大大山展」実行委員会(仮称)



銅像十面観音菩薩立像(大山寺蔵)

## 大山開山1300年を迎えて

中国地方最高峰・大山(大山町大山)は鳥取県西部、伯耆国の中央に位置し、周辺の因幡・出雲・美作・備中などの国々からも遠望できる山嶺です。『出雲国風土記』には「火神岳(大神岳)」とあり、平安時代以降は大智明権現(本地：地蔵菩薩)を対象とする信仰、後には牛馬守護信仰を集めてきました。平成28年4月には、「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」として日本遺産に認定されました。

そして今年県西部を中心に、伯耆国「大山開山1300年祭」が展開されますが、当館では、大山の歴史と民俗を紹介する展覧会を開催します。大山は1300年という長い歴史が物語るように、日本屈指の霊山です。特に大山

には、山陰地方の仏教史を考える上でも非常に重要な大山寺が所在しています。大山の優美な文化は、地域の歴史を土壌として花開きました。本展覧会では大山の文化を代表する大山寺と大神山神社所蔵の資料や、県内外の重要な歴史資料を一堂に展示し、大山の隆盛を支えた地域や人々の歴史にも光を当てます。



木造不動明王坐像(大山寺蔵)

## 大山の歴史と名僧たち

大山の歴史については「大山寺縁起」を手掛かりにしながら、大山の繁栄を支えた人々を紹介します。特に武士や権力者、僧侶たちに関わる品々の展示を行います。武士や権力者の資料としては、大山寺の檀那として重要な伯耆国の小嶋氏や紀氏、金持氏などの縁の品々をご覧ください。また、山名氏・尾子氏・毛利氏などの大名と大山



大山寺縁起絵巻[複製](島根県立古代出雲歴史博物館蔵) Image:TNM Image Archives

寺の関係も紹介します。大山寺縁の僧侶については、日本に喫茶文化を伝えた栄西、その師である基好の関連資料をご覧ください。また、大山寺中興の祖である名僧豪円について、知られざるその生涯にせまります。豪円は備前国(岡山県東部)金山寺や比叡山延暦寺(滋賀県)の再興にも大活躍した人物で、大山寺の再興にもその経験・人脈が大いに活かされました。展示では初公開の豪円の書状も出品予定です。

大山寺の歴史は災害・戦災の歴史でもあり、多くの苦難がありました。一方で、多くの人々が協力しながらその苦難を乗り越えてきたことにより、現在の大山地域の人々の営みと文化があると言えます。本展示からその一端を感じ取っていただければ幸いです。

(学芸課 福代 宏・山本 隆一郎)



高勝寺縁起[伊賀坊田植えを手伝う](栃木県・高勝寺蔵)

## 《関連イベント》

- 6月3日(日)・24日(日)午前11時～正午 「ギャラリートーク」
- 6月3日(日)午後2時～3時30分 民俗講座「大山と地蔵菩薩」
- 6月10日(日)午後2時～3時30分 講演会『大山寺縁起』の語るもの 講師：長谷部八朗氏(駒澤大学学長)
- 6月17日(日)午前10時～午後3時 歴史講座「歴史と民俗を訪ねる会in大山」
- 6月24日(日)午後2時～3時30分 歴史講座「大山の仏教美術」 講師：中田利枝子氏(岡山県立博物館統括学芸員)

■企画展観覧料：一般/700円(団体・前売・大学生・70歳以上/500円)高校生以下無料

# とっとりの化石EXPO！2018

(主催)「とっとりの化石展」実行委員会(仮称)

## 化石とは？

化石は、過去の生物の遺体や痕跡が地層中に保存されたもの。つまり「過去の生物の記録」であり、その記録一つ一つを読み解き、綴っていくことで生物の歴史を知ることができます。生物はなにも自由気ままに進化をしたり、生息場所を広げたり(または狭くしたり)していません。その背景には地球の環境変化が大きく関わっています。化石を知るとは、地球の歴史を知る手がかりにもなります。

## 鳥取県で見つかった化石たち

私たちが住む鳥取県では、これまで東部から西部まで幅広く化石が発見されています。これら化石の発見には、専門家や化石コレクターはもちろん、地元の方々(なんと小学生も!)の活躍が欠かせませんでした。その中には、生き物の進化を考える上で重要な化石や、大昔の鳥取県がどのような場所だったかを教えてくれる化石など、たくさんの大発見がありました。ここではそのほんの一例を紹介します。

恐竜時代の魚類化石  
一八頭郡八頭町橋本



とある夏休み。小学生の女の子が川原で化石の付いた石ころを一つ拾いました(図1)。この周辺は変成岩地帯で化石は含まれないと考えられていたため、この化石はこれまでの考えを覆す大発見でした。専門家による研究の結果、魚類化石であることがわかりました。幸いなことに、石ころには時代の基準となるとも小さな化石“放散虫”や“コノドント”が含まれており、それをヒントに周辺の地質調査が行わ

れ、恐竜時代(三畳紀)の化石であることがわかったのです。

しかし、残念ながらこの地域からほかの化石はまだ見つかっていません。これからどんな大発見が待っているのかとても楽しみです。



超巨大ザメの歯化石  
一日野郡日南町新屋

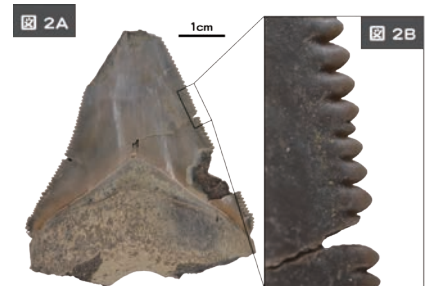


化石発掘イベントに参加した小学生の男の子が、約1700～1600万年前の地層から一個のサメの歯化石を発見しました(図2A)。ギザギザの付いた三角形の歯(図2B)はどう猛なハンターの証です。研究の結果、この化石は漸新世から更新世(約2800万年前～180万年前)に生息していたと考えられる“メガロドン”(図3)であることがわかりました。メガロドンは大きさが10mを超える超巨大なサメで、浅く温かい海に生息していたと考えられています。山深い新屋地域ですが、大昔にはメガロドンが遊泳する海だったと考えられるとワクワクしますね。

ここでは2つの化石を紹介しましたが、もちろん鳥取県の化石はこれだけではありません。日本地質学会が鳥取県の「県の化石」に選定した「宮下魚類化石群」(鳥取市国府町)、植物・昆虫類化石の宝庫「辰巳峠化石群」(鳥取市佐治町)などなど…とてもバラエティに富んだ化石たちがあちこちで発見されています。

本企画展ではこれら鳥取県の化石にスポットを当てた展示を行います。さらに、関わりの深い他県の地層から発見された化石も展示します。本企画展を通して、鳥取県の化石の“これまで”を知っていただき、“これから”を考えてみませんか。

(学芸課 田邊 佳紀)



## 《関連イベント》

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| 7月15日(日)、8月12日(日)・26日(日)午前10～11時、午後2～3時 | 「ギャラリートーク」                      |
| 7月22日(日)午前10時～正午                        | 自然講座「化石レプリカをつくろう！」              |
| 7月29日(日)午後2時～4時                         | 講演会「世界の魚類化石：シーラカンスから国府町宮下まで」(仮) |
| 8月4日(土)午前11時～正午                         | 自然講座「地層のでき方大実験！」                |
| 8月5日(日)午後2時～4時                          | 自然講座「みて！さわって！ホネを楽しもう」           |
| 8月11日(土)午前10時～午後3時                      | 野外観察会「化石をさがせ！ in春米」             |

■企画展観覧料：一般/500円(団体・前売・大学生・70歳以上/300円)高校生以下無料

図1. 三畳紀の魚類化石(産出地：八頭郡八頭町橋本大江川川原)  
図2A-B. メガロドンの歯化石(産出地：日野郡日南町新屋)  
図3. メガロドンの頭化石模型(所蔵：笠岡市立カプトガニ博物館、高さ約2m)

# 鳥取画壇の祖 土方稲嶺 一明月来タリテ相照ラス一

(主催)「土方稲嶺展」実行委員会(仮称)

## 土方稲嶺って？

土方稲嶺(ひじかた・とうれい：1741～1807)は、今から約250年以上前の江戸時代に鳥取に生まれた絵師です。もともとは鳥取藩の家老である荒尾家の家臣の家に生まれましたが、画家として生きていく道を選び、職を辞し、江戸に出ました。二十代後半から三十代前半には、当時江戸で最先端の画法を広めていた宋紫石に就いていたと考えられます。やがて活動の場を上方に移し、四十代、五十代と、もっとも脂ののった時期を京都で過ごしました。そして寛政10年(1798)、稲嶺五十八歳の時に鳥取藩絵師として召し抱えられ、江戸と鳥取を行き来しながら鳥取藩の画事に携わりました。享年六十七歳。お墓は景福寺(鳥取市)にあります。

## みどころ その1. 謎多き二～三十代における新発見

稲嶺が家老の家臣としての職位を捨てた理由や時期、そしてその後の動きの詳細は、実はよくわかっていません。天保3年(1832)に刊行された『画乗要略』には、「言不用因致俸(言を用いられず、因りて致俸す)」とあり、上司への進言が認められず辞職したのではないかという見方もなされています(※)。その真偽はともかく、若き稲嶺は鳥取を去り江戸で宋紫石に学んでおり、複数回にわたり飛騨高山の地にも滞在していたことが、本展を準備する中で次第に明らかとなってきました。



図1. 土方稲嶺筆《群鶴図》(府中市美術館蔵)

図1は高山の酒造家・今井家に伝来した作品《群鶴図》(府中市美術館蔵)です。これ以外にも、飛騨の旧家に伝来する稲嶺作品が複数知られるほか、現在も高山の地に稲嶺が絵付けをした春慶塗の盃台があることも最近発見されました。

※ 小谷恵造「土方稲嶺傳」(富士書店、2001年)

## みどころ その2. 応挙、若冲、そして稲嶺

稲嶺が活動の拠点を京都に移した天明年間(1781～88)当時、そこには円山応挙や長澤芦雪、伊藤若冲といった実力派絵師たちがひしめきあっていました。そのような中、稲嶺は門戸を張り活躍していました。寛政7年(1795)には弟子たちによって北野天満宮に稲嶺の竹画碑が建てられており、同九年の皆川淇園が主催する『東山新書画展観』には、なんと弟子を3人も引き連れて出品しています。

本展では、稲嶺の作品と併せて、応挙や若冲の作品も紹介するほか、公家や木村兼葭堂ら一流の文化人との交流を示す作品などもお借りして展示する予定です(図2)。



図2. 土方稲嶺筆 芝山持豊賛《桜花図》(個人蔵)

## みどころ その3. 書院の再現展示



図3. 興国寺外観(右奥が書院)

稲嶺は京都の妙心寺の複数の塔頭に、襖絵や掛軸を残しているほか、祐徳寺(兵庫県養父市)や興国寺(和歌山県由良町、図3)の襖絵も制作しています。特に興国寺の襖絵は、書院四間を構成する22枚(38面)に及ぶもので、平成28年に当館に御寄贈いただき、修復を経て、本展が初公開となります。書院の間取りを再現し、空間の中に包み込まれることで、稲嶺が得意とした大画面構成の魅力を味わっていただきたいと思います。稲嶺が使用していた印に“深林人不知明月来相照”という語があるように、深い林の奥に月光が差し込んでいるかのような静寂と幽境の世界をお楽しみください。

(美術振興課 山下 真由美)

### 《関連イベント》

会期中の土曜日には、講演会、ギャラリートークなどのイベントを予定しています。

■企画展観覧料：一般/800円  
(団体・前売・大学生・70歳以上/600円)  
高校生以下無料

# ダイオウイカのプラスティネーション標本

## ダイオウイカが漂着した!

深海に潜むダイオウイカは、古くから世界の人々を魅了してきた、謎多きモンスターです。そのダイオウイカが、2014年から2015年にかけて日本海沿岸の各地に相次いで漂着した事は、ご記憶の方も多いと思います。

右の写真は、2015年1月6日、岩美町大羽尾の海岸に漂着したダイオウイカです。全長355cmのメスで、大きな損傷のない新鮮な個体でした。



写真1. 岩美町大羽尾海岸に漂着したダイオウイカ(2015年1月6日)

## 標本にするには?

このような貴重な動物の漂着等があった場合、博物館としては可能な限り標本や情報を保存し、後世の研究・教育に役立つ努力をします。例えば、同じく海の大型動物であるクジラやマンボウなどでは、骨を取り出して骨格標本としたり、皮膚を乾燥・成形して剥製標本としたりすることがあります。

しかしイカの仲間には骨格がなく、皮膚も弱くて剥製にすることが困難です。そのため多くの場合、ホルマリンなどの薬品につける液浸標本というかたちで保存します。この方法は比較的簡便・安価であるのが利点ですが、詳細に観察したり、直接触ったりするためにはいちいち薬品から取り出さなければならぬのが難点です。とくにホルマリンは毒性が強く、取り扱いには細心の注意を必要とします。

## プラスティネーションとは

この他に「プラスティネーション」という方法があります。これは生き物体内の水分や脂肪分を、合成樹脂などに置き換えて標本にする技術です。

これにより表面の微細な形状や内部構造もそのまま保存できます。またホルマリンなどの薬品につけておく必要もないので、取り扱いが簡単なものもよい点です。とくにダイオウイカのように体が軟らかく水分が多い動物では効果的な方法です。

## ダイオウイカのプラスティネーション標本

鳥取県立博物館では、大羽尾海岸に漂着したダイオウイカの腕、眼球、口器(クチバシ)をプラスティネーション標本として保存しました(写真2)。

腕には190個もの吸盤がついていて、よく見るとそれぞれのふちにはギザギザの歯があります(写真3)。これはイカ類に共通する特徴で、この歯

を獲物の体にくいこませ、とらえるのです。

眼球は、この標本で直径約16cm、大きな個体ではバスケットボールほどのサイズにもなり、現生の生物で最大級を誇ります。眼球がこれほど大きいのは、暗い深海の中でわずかな光をとらえるため、という説もありますが、詳しくはわかっていません。

口器には黒っぽいクチバシが2枚あり、これがいわゆる“カラストーンビ”です(写真4)。とらえた獲物はこの鋭いクチバシでかみちぎり、中にある歯舌という部分でこそげとるようにして食べます。

プラスティネーション標本では、こういったクチバシの鋭さや、吸盤の歯などを、直接触って確かめることもできます。学校等への貸し出しにも対応できますので、ぜひ授業等でご活用ください。

(学芸課 一澤 圭)



写真2. ダイオウイカのプラスティネーション標本: 腕(奥)、眼球(手前右)、口器(手前左)。



写真3. ダイオウイカのプラスティネーション標本: 腕の吸盤の拡大。



写真4. ダイオウイカのプラスティネーション標本: クチバシの先端部。

# 大山の登山人形、スキー人形

鳥取県民歌の冒頭に歌われる、大山。現在は観光地としてのイメージが強い大山ですが、江戸時代の終わりまで、信仰で守られた霊場でした。明治時代以降その禁が緩まると、大山を構成する豊かな自然に注目が集まり、鳥取県あげての誘致運動により、昭和11年(1936)に国立公園に指定されます。

ところで、みなさんが現在大山を訪れて求めるお土産はなんですか? 食べ物では豆腐やソフトクリーム、参拝記念は烏天狗の描かれた絵馬や土鈴といったところでしょうか。大正8年(1919)発行「伯耆大山寺参拝と登山の菓」では、名産品として「独活漬、独活糖、名木箸、記念杖(杖)、大山焼、絵葉書類等数多あり」とあるので、この時代は山菜をはじめとする山の幸が主であったと思われる

ます。また、もともと竹馬、やっちゃ、大吉ごまなど郷土玩具が大山の春祭りで売られていたようですが、昭和になると、国立公園誘致運動を背景として、お土産がいろいろ試作されたようです。当館所蔵の吉村撫骨旧蔵の『郷土玩具図譜』という資料(写真上)には、吉村が昭和のはじめに収集した大山関係の郷土玩具のスケッチと値段や入手先が記されています。これを見ると、郷土玩具のモチーフとして近代スポーツの登山やスキーが取り上げられていたことが分かります。実際に伝わっている土人形とは意匠が変わっていますが(写真下)、これは試行錯誤の結果では



ないでしょうか。

今年には伯耆国「大山開山1300年祭」の年、当館でも6月に大山の歴史と民俗を紹介する企画展を開催します。展示の中では大山の近代化を象徴する国立公園指定前後の事象も取り上げたいと思いますので、どうぞ来館ください。

(学芸課 福代 宏)

## コラム

### 江戸時代のドッグトレーナー～御犬飼～

今年の干支にちなんで、鳥取藩と犬との関係をご紹介します。鳥取藩の本草学者である平田眠翁が著した『因伯産物薬効録』によれば、犬には田犬(猟犬)、食犬(食用犬)、吠犬(番犬)などの種があり、さらに脚が短く、毛の長い種は「ちん」です。

また、藩には「御犬飼」と呼ばれる役職がありました。その名の通り、藩用の犬を飼育することを職務とする、れっきとした藩士でした。鳥取藩のさまざまな出来事や歴史を記した『鳥取藩史』によると、御犬飼は2名の定員があり、格式は最下級の無苗が勤める役とされており、武士身分とはいわぬが苗字は名乗れませんでした。また給料は、武士としては最低ラインに近い2人扶持10俵でしたが、犬1疋

につき1人扶持(犬扶持)という具合に、特別な手当があったようです。養育する犬は、藩主が所有するため、「御犬」と敬称をつけて呼ばれ、その他の犬とは区別された特別な存在でした。ちなみに「御犬」は、参勤交代にも御供し、大名行列では藩主の駕籠よりも前を歩きました。

それでは藩主の「御犬」は藩のなかで、どのような役割を果たしていたのでしょうか。じつは、藩主が鷹狩をする際に、鷹が捕らえる獲物を追い立てる猟犬(鷹犬)として活躍しました。そのため普段は鴨の狩猟場がある千代川沿いの古海御茶

屋で飼育され、鎖や鈴が付けられていたようです。御犬飼は藩主が交代しても職務を続けましたが、「御犬」の方は、所有者である藩主が亡くなると御犬飼に預けられ、死ぬまでの間、養育費が藩から支給されました。

(学芸課 来見田 博基)



鳥取藩の絵師が描いた犬の絵 土方稲嶺筆《狗子図》鳥取県立博物館蔵

## 新収蔵品紹介

### 辻晉堂作《ワシ》

白い展示台を囲んで楽しそうに意見を交わす中学生たち。その中心にあるのは不思議なかたちをした彫刻で、生徒たちはそれに優しく触れようとしています。よく見ると、彫刻の上部には目のようなものが二つ。題名はシンプルに《ワシ》。現在の鳥取県西伯郡伯耆町出身の辻晉堂（1910～1981）の晩年の自刻像です。

辻は、「我流」の精神を根本に据えながらも国内外のさまざまな美術潮流、造形表現の影響も受けた、今も根強いファンをもつ個性的な彫刻家です。その大きな特徴は、「写す彫刻」から「表わす彫刻」へ、というように自由に作風を変えたことにあります。ロダンの影響からスタートし、見たものを写実的に造形することから、モデルを使わ

ない象徴的な人体像へ、そして抽象性を高めた造形へも向かいました。辻はそれぞれの段階で魅力的な作品を残し、

当館もその代表作を中心に積極的に収集を進めてきました。写真で中学生たちに囲まれている《ワシ》もその一つで、平成28年に購入したものです。

辻は、粘土を薄く板状に伸ばした「たたら」をぐにやりと立体的に折り曲げたところに目・鼻・口を貼り付けることで、頬のこけた個性的な男／辻自身の顔を、戯画的な風合いのある人間像として簡潔に立ち上げています。それも見る角度によって微妙に表情が変わる。写真で紹介しているのは平成29年12月に大山中学校で開催した「コレク



辻晉堂作《ワシ》を鑑賞する大山中学校の生徒たち

ション宅配便」での一コマ。参加してくれたのは中学3年生で、初めて見るタイプの彫刻に興味津々でした。自由に作品の周囲を回り、移り変わる表情を楽しみ、学芸員と一緒に優しく触れてみることで一層身近に感じる。忙しい中学生活のなかでも記憶に残った一日になったと思います。私たちはこれからも、このようにさまざまなスタイルで当館のコレクションと県民との出会いの場をつくっていきたいと思います。

（美術振興課 三浦 努）

## コラム

### 友の会へのお誘い

鳥取県立博物館には、博物館の活動をさらに楽しんでいただくための友の会組織があることを御存知でしょうか。かつては鳥取県立博物館協会という名称の、博物館創立時にまでさかのぼる歴史の長い組織で、研究的な会報の発行など、従来の活動はやや堅いイメージがありました。このため、数年前に名称を「鳥取県立博物館友の会」と変え、活動内容も研究的なそれから親睦的なそれに変え、多くの新しい事業を始めました。現在、百名ほどの会員を擁し、様々な活動を繰り広げています。

今年度も八頭方面をめぐる一日バス旅行、市内に震災や洪水の痕跡をたどる見学会、あるいはふだんは入っていない博物館のバックヤードを探検するツアーなど、盛りだくさんの内

容で多くの参加者がありました。また展覧会ごとに、友の会の会員を対象とした担当学芸員による解説会を開いて、展覧会をさらに楽しんで

ただけるように工夫しています。そのほか年に三回程度会報を発行し、展覧会の内覧会への招待も行っています。

個人会員であれば、三千円の会費を払えば、年間をとおして博物館主催の展覧会及び常設展が何回でも無料でご覧いただけます。会員の資格は翌年の4月まで有効ですから、年度初めの今の時期にお入りになることをお



平成27年度友の会 一日バス旅行の様子

勧めします。家族会員、団体会員という資格もあります。近年、博物館や美術館は単に資料や作品を見る受け身の場所から、来館者が積極的に参加する活動の場へと変わりつつあります。この機会に県立博物館の新しい楽しみ方を発見していただきたいと願っています。

（副館長兼美術振興課長 尾崎 信一郎）

# 「私たちの県立美術館」の動き

## 倉吉市に県立美術館を新設

県では、昨年3月、県立美術館を倉吉市営ラグビー場（倉吉パークスクエア隣接）に整備することを決定しました。県中部は、全県から集まりやすい美術館側からも各地域に出かけやすい場所で、様々な人が訪れ、楽しみ、交流する拠点となる美術館にしたいと考えています。

## 「県立美術館」を目指して

地域に根差し、自分たちの美術館だと思っただけの「県立美術館」を目指し、美術館に求められる機能と特色等をまとめた基本計画を策定する予定です。県内の文化団体や地域活動団体、専門アドバイザーのご意見等から、これまで県立博物館の美術部門がやってきたことに加え、「美術を通じた学び」ができるよう学校教育の支援を

充実させたり、子どもたちや県民の創作発表の場を広げること、また、美術鑑賞のみならず、気軽に訪れ思い思いに過ごせる美術館にしたいと検討を進めているところです。

2月6日には、アート小説家として活躍する原田マハさんをお招きし、「鳥取県美術館フォーラム」を開催し、多くの方にご来場いただきました。アートが身近にあり「アートは友達、美術館は友達の家」という原田さんは、国内外の美術館の事例から、個性を持ち発信力にも力をいれることや、『美術館は誰のもの？』と言えば「私たちのもの」であり、想いを持って支えていこうという話がありました。『未来の鳥取と美術館』をテーマにしたパネルディスカッションでは、原田さんのほか美術、学校教育の関係者から、「交流の



鳥取県美術館フォーラムで行われたパネルディスカッションの様子

場である県民ギャラリーを充実させてほしい」「美術館を使い倒せる提案を県民から行っては？」といった意見が出されました。

## 「美術館づくり」一緒に

現在、当館では、「アートの種まき」と題した美術館のファンをつくるプログラムや、ワークショップを一緒につくるボランティアとの活動を行っています。皆様お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

新しい情報は、博物館のホームページに掲載しています。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/artmuseum/>  
(平成30年2月7日記)  
(美術館整備準備室 石原 理絵)

## ミュージアムショップのご紹介

museum shop



ミュージアムショップでは、企画展の図録や博物館の調査研究冊子の販売の他、オリジナルグッズの製作・販売も行うなど、皆様の知的好奇心をくすぐるグッズを多数揃えています。博物館にいらっしやっした折には、是非お立ち寄りください。

OPEN/博物館開館日 ※ご利用に入館料は必要ありません。

### — 当館でしか販売していないショップのオススメ商品 —

#### 鳥取名産黒サンゴ・青サンゴ細工

日本で唯一の日本海産の深海サンゴを使用したサンゴ細工の逸品、鳥取名産黒サンゴ・青サンゴの「ペンダント」「ブローチ」「カフセット」など。一つひとつ模様の出かたが違うため世界に同じものはありません。

1,500～5,000円(税込)



ネックレス

カフ

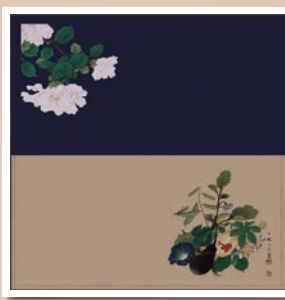
イヤリング

鳥取県立博物館  
オリジナル  
ポストカード  
50～100円(税込)



#### NEW! 鳥取県立博物館オリジナル 沖一峨ハンカチ 980円(税込)

鳥取藩御用絵師 沖一峨（おき・いちが）の当館所蔵絵画のハンカチが新たにオリジナルグッズに加わります。



ハンカチ「花泉方円図」



ハンカチ「紫陽花に小禽図」

### チェック!

鳥取県立博物館オリジナル  
みつなかくん  
リングノート 480円(税込)



鳥取藩初代藩主 池田光仲がモチーフのキャラクター「みつなかくん」は歴史好きの方に大人気!

平成30年度開催の企画展や講座情報については、ホームページか、当館が発行しております「展覧会・イベントのご案内」でご確認ください。

## 鳥取県立博物館ニュース No.25

平成30年(2018年)3月29日発行

編集・発行 鳥取県立博物館

住所 〒680-0011 鳥取市東町2丁目124番地

TEL 0857(26)8042(代)

FAX 0857(26)8041

URL <http://www.pref.tottori.lg.jp/museum/>

E-mail [hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp](mailto:hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp)

当館HPは  
こちらから



facebook 更新中!

- 入館料:常設展/一般180(150円)  
( )内は20名様以上の団体料金
- 開館時間:9時～17時(入館は16時30分まで)  
19時(入館は18時30分)まで開館する場合あり。詳細はお問い合わせください。
- 休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日が休館日)  
国民の祝日の翌日(土、日、祝日の場合を除く)  
年末年始(12月29日～1月3日)  
※具体的な休館日等は、ホームページでご確認ください。



- JR鳥取駅からバスで
- ①100円バス「くる梨」線コース「@仁風閣・県立博物館」下車すぐ
- ②ループ線「鶴岡線」下車すぐ
- ③砂丘・湖山・磐城方面行「西町」下車、約400m
- ④市内回り岩倉・中河原方面行「わらべ館前」下車、約600m
- JR鳥取駅からタクシーで…約10分
- 鳥取砂丘コナン空港から…鳥取駅行連絡バス「西町」下車、約400m
- お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分
- ※当館駐車場21台駐車可能。満車の場合は県庁北側駐車場無料へ

お客様の満足の笑顔へ…  
**MORRIX**  
株式会社モリックスジャパン  
TEL 0857-23-3641  
本社 鳥取市南栄町203-6  
倉吉店 倉吉市下田町870 中瀬ビル3F  
<http://www.morrix.co.jp/>

引越は日通  
0120-154022